みことば黙想ノート (サンプル)

(聖書箇所) 詩篇 63: 1-11

(日付) 2019年3月30日

(始まりの祈り)

- 1,私のたましいをイエス様の血潮で清めてください。(汚れも清められます)
- 2, 聖霊様、主の光を照らし、みことばを分からせてください。
- 3, 恵みの御座の前で永遠のいのちを知り、主との交わりにあずかって御父の家にとどまらせてください。

(本文)

2~3回精読した後、

- (1) 自分の言葉で本文を書く。又は、
- (2) 直接注解。又は
- (3) 牧師の注解を要約
- イエス・キリスト中心、十字架中心(神の関心事である救いに焦点)。みことばが、すなわち神である。

自分の言葉で本文を書いた例

イスラエルの王ダビデは、愛する息子アブシャロムの反逆によって、荒野に追い出された。人生の中で一番ひどい苦しみに遭っていた。しかしその悲惨な状況で、敵となった息子に対抗せず、ただ主を切に求めた。彼のたましいは主に渇きその身も主をあえぎ求めた。状況の解決ではなくて主を渇望した。それでその場所が主の力と栄光を見る聖所となった。そして主の恵みはいのちにもまさると告白している。彼は死にそうな状況でも主の愛を疑わない。それゆえ彼は生きるかぎり主をほめたたえ、主の御名により両手を上げて祈っている。

ダビデはイエス・キリストを予表する王である。イエス様は、神の敵となってしまった私たちの代わりに十字架で釘打たれた。イエス様は十字架上で飢え渇いて神を渇望し、それによって御父の家に入る至聖所の門を開かれた。イエス様は自分のいのちをささげながらも、御父の愛を疑わなかった。今ではイエス様を信じる者は、キリストのいのちを持つ者となった。その者は最悪の状況でもただ主を渇望する。状況解決ではなく御父のふところを渇望する。御子を通して入る御父のふところで、全ての状況を超越して受け入れる。

私の黙想(神様との交わり、いのちの交わり)・・・・黙想の核心!

1段階(実存)

みことばの前に自分自身も受け入れられない自分を発見する (いちじくの葉を脱ぐ。存在的悲惨)

私はアブシャロムのように自分の王を裏切った者だ。アブシャロムがダビデの民の心を盗んだように、 主の民の心を盗んで、認められて尊敬を受けようとした。私は審判を受けて滅ぼされても当然の者だ。

2段階(福音)

神様が御子の救いの恵みを通して、私を受け入れられる。(赦し、受容、尊い)

しかし主はそんな私を滅ぼさないで、逆に十字架につけられて死なれた。主の死は至聖所の垂れ幕を裂き、主はただ一度で至聖所に入られた。神の敵であった私は、主の死によって神と和解した者となった。 御子の力によって御父に近づく大胆さ(パレシア)を得た。今や私は創造前に御父が御子を愛して与えた 栄光を見るようになった。

3段階(いのち)

私を受け入れてくださる神を受け入れる。

(御父の喜びを受け入れる勇気、御父の喜びにあずかる)

高慢によって私のたましいは渇いて荒野となった。しかしこのありのままの姿で、御子の力によって御父に近づく。私のいのちは御子と一緒に御父の内にかくされている。自分自身も受け入れられない私を受け入れてくださる御父を、私の内に迎え入れます。父の祝宴に参加する放蕩息子のように、御父の喜びが私の喜びとなる。私の自意識は消え去り、ただ御父の内にあって喜び楽しみます。ハレルヤ!

(黙想の祈り)

父なる神様、私は本当にアブシャロムのような者でした。主のものを自分のものとして盗みました。審判を受けて死ぬべき者です。しかし、限りないあわれみと慈しみによって生かしてくださいました。今日も血潮の力によって御父のふところに飛び込みます。主よ、私を受けとめてください。悲惨な者を受け入れてくださり感謝します。私を喜ばれる御父の喜びを受け入れます。御父の喜びにあずかります。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

(ヨハネ 17:3) 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

みことば黙想ノート (いのちの交わり)

(聖書箇所)

(日付)

(始まりの祈り)

(本文)

- 2~3回精読した後、
- (1) 自分の言葉で本文を書く。又は、
- (2) 直接注解。又は
- (3) 牧師の注解を要約
- イエス・キリスト中心、十字架中心(神の関心事である救いに焦点)。みことばが、すなわち神である。

私の黙想(神様との交わり、いのちの交わり)・・・・黙想の核心!

1段階(実存)

みことばの前に自分自身も受け入れられない自分を発見する (いちじくの葉を脱ぐ。存在的悲惨)

\mathbf{c}	段階	(福音)
7.	147 M24	
_	*X***	

神様が御子の救いの恵みを通して、私を受け入れられる。(赦し、受容、尊い)

3段階(いのち)

私を受け入れてくださる神を受け入れる。 (御父の喜びを受け入れる勇気、御父の喜びにあずかる)

(黙想の祈り)

(ヨハネ 17:3) 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。